

1、事業所の運営状況について

(1) 認知症対応型通所介護事業所の概要

2022年 7月1日 現在

1、事業所名称	ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター				
2、所在地・連絡先	(住所)京都市山科区大宅御所田町115番地1 (電話)075-572-6677 (FAX)075-575-5055				
3、サービスの種類	認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護				
4、管理者の氏名	金谷 夏美				
5、定員	12名				
6、営業日等	営業日 月曜日から土曜日 営業しない日 日曜日・12月30日～1月3日 営業時間 8:30～17:00				
7、事業所の職員体制			区分		
	職種	人数(人)	常勤(人)	非常勤(人)	職務の内容
	1、管理者	1	1		生活相談員と兼務
	2、生活相談員	3	3		2名介護職員と兼務
	3、介護職員	6	3	3	2名生活相談員と兼務
	4、看護職員	3	2	1	3名通所看護職員と兼務
5、機能訓練指導員	4	4		2名通所介護看護職員、2名通所介護機能訓練指導員と兼務	

職員体制は資料のとおりです。平均すると1日、約4.5名の介護職員が出勤しています。ご利用者2、3名に対して介護職員が1名付き添いができる環境になっています。

(2) 月別利用状況 2022年1月～6月

	開所日数(日)	稼働率	利用者延べ人数(人)	1日平均利用者人数(人)
1月	24日	77.8%	224人	9.3人
2月	16日	78.1%	150人	9.4人
3月	27日	78.1%	253人	9.4人
4月	26日	74.0%	231人	8.9人
5月	26日	68.3%	213人	8.2人
6月	20日	70.8%	170人	8.5人
	139日		1,241人	
6ヶ月間の平均稼働率			74.5%	

利用者人数の1日平均がおおよそ8名～9名前後のご利用で、稼働率の6ヶ月平均は74.5%でした。2月に併設する一般デイサービスの利用者1名。6月にも一般デイサービス・オレンジデイサービスの利用者各1名から新型コロナウイルス感染者が発生したため、2月2日から10日、6月24日から7月3日まで営業を休止しました。

(3) 月別平均介護度 2022年1月～6月利用実績

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均介護度	3	3.1	3.1	2.9	2.8	2.9

1月～6月までの月別平均介護度は資料のとおりです。6ヶ月の平均は要介護 2.9でした。

(4) 2022年1月～6月の職員に対する研修実施状況について（勉強会）

1月	ボディメカニクス・ポジショニング
2月	認知症予防ケアについて
3月	2021年度の勉強会振り返り
4月	なし
5月	モニタリング
6月	移乗・移動介助

定期的に一般型デイサービスとオレンジデイサービス合同で勉強会を行なっています。

1月の「ボディメカニクス・ポジショニング」の勉強会では、車椅子や椅子からの立ち上がりを力学的原理を活用した介助方法で、介助の負担を減らす知識を習得しました。また、ベッド上で体位変換を行なえない利用者に対して褥瘡ができないようなポジショニングの方法を、実際に体験して学びました。利用者の疾患・障害を把握することで、利用者へ負担のない介助や褥瘡を防ぐポジショニングが行なえることを改めて確認することができました。

2月の「認知症予防ケアについて」の勉強会では、生活習慣病が認知症の発症リスクと大きく関係していることを学びました。また、認知症は治らない病気ではなくMCI(軽度認知症障害者)や軽度認知症の段階で生活改善を行ない社会と交流・やりがいを日々の中に取り入れることで、薬を取り入れなくても進行を遅らせたり防ぐことができ、日々のデイサービスでも利用者に生きがいや社会交流が行なえるレクリエーションや支援が必要であると確認を行ないました。

3月は「2021年度の勉強会の振り返り」を行ないました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、勉強会が書面開催となる月もあり、実際に開催できたのは年度内に1回となりました。2022年度も勉強会の学びたい内容について、アンケートを実施しアンケート結果を基に内容を決定しました。

4月は勉強会の開催はありませんでした。

5月の「モニタリング」の勉強会では、モニタリングの目的や作成方法について実際に使用している通所介護計画書やモニタリング用紙を用いて学びました。デイサービスでの利用者の様子を介護支援専門員に伝えることで、利用者の状態に合わせたケアが提供できると改めて学ぶことができました。

※モニタリングとは計画書の運用に問題がないか評価して検証することです

6月の「移乗・移動介助」の勉強会では理学療法士指導のもと、日頃介護職員が介助を行なっている利用者への移乗・移動介助での不安点を上げ、専門的視点からの指導を受け理解を深めました。利用者の疾患の特徴を理解した上で移乗・移動介助を行なうことの重要性を学びました。

2、行事報告・ご利用者の様子について

行事実施報告

1月	初詣
2月	なし
3月	なし
4月	お花見
5月	お庭行事(ゆかいな水族館)
6月	なし

行事報告、ご利用者の様子についてです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出は自粛し施設内で行事を行ないました。

1月の初詣は本来ならデイサービスから岩屋神社に行き、正月気分を味わっていただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出は控え施設に手作りの鳥居を設置し、参拝していただきました。おみくじを引いていただき、新年の気分を味わっていただきました。

2月は行事はありませんでした。

3月も行事は行なっておりません。

4月のお花見行事では、施設中庭の桜の下でお茶を飲みながらお花見をされたり、桜と一緒に記念撮影を行ないました。「ここ(施設)でこんな綺麗な桜を見ながらお茶できるなんて贅沢やな」と感想をいただきました。

5月のお庭行事(ゆかいな水族館)では、中庭に隠された魚の漢字が書かれたパネルを探すゲームを行ないました。「こんな所に隠れてた。」と話されながらゲームに参加していただきました。

6月の行事はありませんでした。

3、事故及びヒヤリハット事例の報告(2022年1月～6月)

事故(インシデント・アクシデント)発生状況

発生件数			
致命的	重症	中度	軽度
0件	0件	1件	1件

(内容)

- ・薬飲み忘れ(薬持参されていたが、連絡袋の中から落ちていた。)
- ・食前薬飲み忘れ

今年1月から6月までの間に事故が2件ありました。

ヒヤリハット(ほっと報告書)の発生状況

発生件数								
転倒	ずり落ち	紛失	異食	誤薬・落薬	怪我	苦情	忘れ物	その他
3件	2件	2件	2件	2件	3件	2件	1件	3件

(その他の内容)

- ・帰宅送迎時、自宅にて衣類チェック終了後、施設で保管している衣類チェックファイルを自宅へ置き忘れてきた。
- ・フロア待機職員が、利用者のトイレ誘導のためフロアを離れてしまい、フロア内に見守り待機職員が空になってしまった。
- ・利用前日自宅で38.0℃台の熱発があったのにも関わらず、普段から見られるこもり熱だと判断し、送迎車に乗車してもらい、来所された。

ヒヤリハットとは事故に至る可能性のあったできごとの発見のことです。事故分類の内容はどの事故に繋がる恐れがあるかを示したものです。情報を共有し事故を未然に防ぐことを目的としています。件数は2022年1月から6月までの間20件でした。

4、2021年度 満足度アンケート実施状況の報告

10月満足度アンケートについて 配布

10月30日締め切り

12月オレンジ会議にて結果報告。改善案を考案。

1月オレンジ会議にて改善案を決定。

1月下旬 ご利用者、ご家族へアンケートの回答を配布。

(改善提案内容)

①「レクリエーション提供については楽しいものが行なえていますか？」の項目でやや満足度が低かったため、レクリエーション提供の充実を図る改善をしてはどうか？

(現在はレクリエーション担当は特に決めておらず、新しいレクリエーションの提供が不定期である。既存のレクリエーションの更なる向上や個々に楽しんでいただけるようなレクリエーションの提供のために提案する。)

⇒1か月に1回職員一人が担当となり、新しいレクリエーションの企画提供を行なっていく。また、既存のレクリエーション物品の修繕も行なう。

②「身体を動かすことが機能維持につながっていますか？」の項目で満足度が高かったため、機能訓練の更なる充実を図る改善してはどうか？

⇒①CDラジカセを使用し、音楽を流してラジオ体操やよきによき体操、棒やタオルを使用する等体操の種類を増やす。

②集団での体操に参加できない方に対して、個別に関わりを持ち、手足の簡単な体操やマッサージ等を無理のない範囲で行なう。

資料の内容は以上になります。

別紙、回答用紙がございますのでご不明点やご質問、感想などがございましたら7月30日(土)までにご返答をよろしくお願い申し上げます。